



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ハウス オブ ローゼ
コード番号 7506 URL <http://www.houseofrose.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 神野 晴年

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 桑野 純也

TEL 03-5114-5800

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	10,127	△6.5	34	△92.0	40	△90.5	△14	—
26年3月期第3四半期	10,826	△0.7	429	△6.6	425	△9.1	203	△17.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第3四半期	△2.99	—
26年3月期第3四半期	43.37	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円銭	百万円	円銭	%	円銭
27年3月期第3四半期	8,686	—	5,452	—	62.8	1,159.39
26年3月期	8,667	—	5,645	—	65.1	1,200.60

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 5,452百万円 26年3月期 5,645百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
27年3月期	—	20.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	13,750	△6.3	120	△80.7	120	△80.2	50	△81.8	10.63

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	4,706,063 株	26年3月期	4,703,063 株
27年3月期3Q	448 株	26年3月期	448 株
27年3月期3Q	4,702,615 株	26年3月期3Q	4,702,615 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期報告書に対するレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期の国内景気は、消費増税後の反動減から徐々に持ち直してまいりましたが、物価上昇に伴う実質所得低下の影響等から弱めの動きで推移いたしました。小売業界につきましてもインバウンド効果が寄与した都市部百貨店は業績が向上した反面、地方では個人消費の弱さもあり厳しい状況で推移する等、業種間のみならず同業種内でも二極化する展開となってまいりました。当社につきましては、消費増税後の反動減の影響による第2四半期までの業績低迷から徐々に回復基調となってまいりました。

(直営店商品販売事業)

主力であるハウス オブ ローゼ化粧品販売事業につきましては、消費増税後の反動減から下げ止まり徐々に回復いたしました。当会計期間(10~12月期)は交通広告の実施や販売促進策の強化、また、髪のダメージケア対応の「バオバリッチ」ヘアケアシリーズや「朝活」をキャッチフレーズにした美容マスク「ウェイカリズムエッセンスマスク」といった新商品の発売効果等により新客数が増加し売上高も持ち直してまいりました。中でも専門店店舗は新客数、新客売上高とも前年同期(10~12月期)を上回る伸びを示しました。一方既存客売上高及び客数につきましては、若干回復に時間がかかっていますが、着実に持ち直しつつあります。当累計期間のハウス オブ ローゼ直営店舗売上高は前年同期比7.9%減となり、他の直営店商品販売事業を加えた当事業売上高は、79億73百万円(前年同期比7.8%減)、営業損失は1億54百万円(前年同期は営業利益2億13百万円)となりました。

(直営店サービス事業)

リフレクソロジー事業につきましては、スタッフ数不足も徐々に緩和されつつあり、ベッドを使用した施術メニューの拡充等によりリピート化を促進したことで顧客単価が上昇、既存店売上高は伸長いたしました。ただ、退店による店舗数の減少が影響し全店ベースでは前年同期比2.5%減となりました。一方カーブス事業は、毎年冬期は退会者が増え会員数が減少する傾向にありますが、退会者の減少を図るべく会員のモチベーション向上のためのイベント実施を始め、物販の強化にも取り組んだ結果、売上高は前年同期比3.8%増となりました。以上、当事業売上高は12億77百万円(前年同期比0.0%増)、営業利益は1億71百万円(同11.0%増)となりました。

(卸売販売事業)

個人オーナーショップ向け卸売販売につきましては、ハウス オブ ローゼ直営店同様、広告宣伝効果や新商品発売効果により新客を中心に持ち直しが進展したものの、退店による店舗数の減少が影響し売上高は減少いたしました。一方、量販店向け卸売販売は積極的に販売チャネルを新規開拓したこと、及び当社からスタッフを派遣している店舗の売上が増加したこと等により前年同期比1.8%増となりました。その他一般向け卸売販売につきましては、期間限定商品や通販事業者向け売上でほぼ前年同期並みの売上高となりました。以上、当事業売上高は8億75百万円(前年同期比3.2%減)、営業利益は17百万円(前年同期比72.1%減)の結果となりました。

以上の結果、当第3四半期における全社売上高は101億27百万円(前年同期比6.5%減)、営業利益は34百万円(前年同期比92.0%減)で、当四半期において営業利益ベースで黒字転換を図ることができました。しかしながら法人税等の支払いにより第3四半期純損失は14百万円(前年同期は純利益2億3百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末より18百万円増加し、86億86百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末より59百万円増加し、49億12百万円となりました。これは主に売掛金が1億18百万円、商品及び製品が2億32百万円増加し、現金及び預金が2億84百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末より40百万円減少し、37億74百万円となりました。これは主に無形固定資産(リース資産)が36百万円減少したことによるものであります。

負債合計は前事業年度末より2億12百万円増加し、32億34百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が95百万円、電子記録債務が3億20百万円増加し、未払法人税等が1億66百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末より1億93百万円減少し、54億52百万円となりました。これは主に利益剰余金が2億2百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、前回公表(平成26年11月4日)いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の業績予想に変更はありません。上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,904,919	1,620,306
売掛金	1,301,667	1,419,777
商品及び製品	1,482,691	1,715,369
その他	163,127	156,639
流動資産合計	4,852,406	4,912,092
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	423,867	411,567
土地	1,415,905	1,415,905
リース資産(純額)	56,557	44,564
有形固定資産合計	1,896,330	1,872,037
無形固定資産	180,933	144,736
投資その他の資産		
差入保証金	769,622	766,967
その他	968,502	990,951
投資その他の資産合計	1,738,125	1,757,919
固定資産合計	3,815,389	3,774,692
資産合計	8,667,795	8,686,785
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	414,197	509,470
電子記録債務	472,009	792,953
短期借入金	—	150,000
未払法人税等	186,135	19,253
賞与引当金	201,130	50,000
その他	628,436	627,443
流動負債合計	1,901,908	2,149,121
固定負債		
退職給付引当金	872,138	906,098
役員退職慰労引当金	44,504	51,344
その他	203,272	128,076
固定負債合計	1,119,914	1,085,519
負債合計	3,021,822	3,234,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	934,682	934,682
資本剰余金	1,282,222	1,282,222
利益剰余金	4,398,694	4,196,526
自己株式	△428	△428
株主資本合計	6,615,169	6,413,001
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	26,920	35,259
土地再評価差額金	△996,116	△996,116
評価・換算差額等合計	△969,196	△960,857
純資産合計	5,645,973	5,452,144
負債純資産合計	8,667,795	8,686,785

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	10,826,946	10,127,466
売上原価	3,064,431	2,937,407
売上総利益	7,762,515	7,190,059
販売費及び一般管理費	7,332,928	7,155,878
営業利益	429,586	34,181
営業外収益		
受取利息	1,794	2,207
受取配当金	1,679	1,924
不動産賃貸料	1,647	1,437
その他	3,096	3,549
営業外収益合計	8,217	9,119
営業外費用		
支払利息	3,199	2,040
リース解約損	8,667	—
不動産賃貸原価	740	701
営業外費用合計	12,606	2,741
経常利益	425,198	40,558
特別損失		
役員退職慰労金	26,703	—
特別損失合計	26,703	—
税引前四半期純利益	398,495	40,558
法人税、住民税及び事業税	95,474	37,464
法人税等調整額	99,077	17,157
法人税等合計	194,552	54,621
四半期純利益又は四半期純損失(△)	203,942	△14,063

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。